

どうぶつ「おひるね」びんご 解説シート



休んでいる動物が多いのはなぜ？

- ライオンなどの肉食動物の場合…
野生では、いつ狩りが成功して、食べ物が得られるかわかりません。そのため、狩りの時間以外は休むことで、エネルギーを節約します。
- カピバラなどの草食動物や小さな動物の場合…
野生では、肉食動物に見つかり食べられてしまう可能性があります。そのため、安全な場所ではじっと身を潜めています。休んでいるように見えても、すぐに動ける体制で、周囲の状況を探っていることも。
- ウサギなどの家畜や動物園で暮らす動物の場合…
展示場や寝室は、自分を狙う敵がいない安全な場所だと知っています。そのため、リラックスして休んでいることもあります。



どんな風に寝ていた？観察ポイント

- 姿勢
暖かい季節は体を伸ばして、寒い季節は体を丸めるようにして休む動物が多いです。また、鳥の仲間の多くは、長い首を曲げて、背中の方に顔をうずめ、座って休みます。
- 場所
カバは、敵や強い日光を避けられる水中で休みます。レッサーパンダは、大きな肉食動物が登ってこられない、高い木の上で休みます。
- 誰と
ウサギは、仲良しな個体同士でくっついて休みます。シジュウカラガンは、適度な距離を取りながらそれぞれが好きな場所で休みます。



動物が活発に動くオススメの時間

開園直後や閉園間際などは、動物たちが活発に動きまわるのでオススメです。また、日中でもエサやおやつの時間になると、鳴いたり走ったりする動物がいますので、見られたらラッキーです。